



週間情報



No.0735

発行日 令和7年9月16日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 「通信指令業務勉強会」を開催

滋賀県消防長会（滋賀）

滋賀県消防長会では、令和7年8月19日（火）、県内消防本部の通信指令業務に従事する職員を対象とした「通信指令業務勉強会」を開催しました。

この勉強会は、人事交流を主眼として開催したもので、当日は、「関係機関との連携」をテーマとして、建設業界や一般企業と締結している応援（支援）協定とその活用実績について、グループディスカッション形式で共有したほか、各消防本部の取り組みなどについて情報交換を行いました。

また、グループディスカッション終了後には、滋賀県警察本部通信指令室の施設見学を実施し、警察機関の通信指令体制などについてお話を伺い、新たな知識を得ることができました。

今後も、県内消防本部や関係機関との円滑な連携体制づくりに取り組んでまいります。



【勉強会の様子】



【記念撮影の様子】

消防本部の動き

行事

◆ 新庁舎の運用を開始

新見市消防本部（岡山）

新見市消防本部では、令和7年7月24日（木）、新庁舎の落成式を実施し、同年8月22日（金）に運用を開始しました。

この新庁舎は、安全性と機能性に優れた3階建てで、隊員が迅速に出場する動線を最重視し、出場準備室を1階の中心に配置したほか、2階には、消防本部事務室、通信指令室、消防団詰所、防災会議室を設置して、市民や各種団体向けの講習会場としても活用できるよう整備されています。

また、訓練環境を充実させるため、5階建ての主訓練塔と3階建ての副訓練塔を整備するとともに、防災備蓄倉庫、屋外タンク貯蔵所、自家発電設備、太陽光発電設備などを備え、消防・防災の拠点となる機能も有しています。

今後も、市民の安全・安心の確保のため、より一層の消防力強化に努めてまいります。



【落成式の様子】



【新庁舎】

◆ 日本中央競馬会栗東トレーニング・センターから物品を寄贈

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和7年8月28日（木）、地元協力事業の一環として、日本中央競馬会栗東トレーニング・センターから大規模災害時や緊急消防援助隊出動時に電気機器の充電ができるポータブル電源と、消防音楽隊派遣時に活用する、のぼり旗をご寄贈いただきました。

同トレーニング・センターからは、昭和48年から数多くの物品をご寄贈いただいております。

本寄贈品を有効に活用し、近年増加する大規模災害に対する備えを万全にするとともに、消防音楽隊派遣演奏を通じて、防火防災の広報により一層努めてまいります。



【寄贈の様子】

◆ 鳥取県東部医師会から応急手当普及啓発活動用資器材を寄贈

鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和7年9月2日（火）、救急医療週間を前に、鳥取県東部医師会から応急手当普及啓発活動用資器材をご寄贈いただきました。

当消防局では、応急手当普及啓発に係る各種講習会を令和6年中に約300件開催しており、受講者数は延べ約5,000人になります。

当日は、ZOLL社製オートショック機能付きAEDトレーナー3台と人工呼吸用携帯感染防止マスク300個を寄贈いただきました。

今後は、普及が予想されるオートショック機能付きAEDについての普及啓発もでき、勇気を持って応急手当ができるバイスタンダーの育成に尽力してまいります。



【消防局長と医師会長の記念撮影】



【寄贈品一式】

訓練

◆ 解体予定の建物を活用した消防訓練を実施

各務原市消防本部（岐阜）

各務原市消防本部では、令和7年8月18日（月）、19日（火）の2日間、解体予定の県営尾崎住宅を活用した消防訓練を実施しました。

当日は、猛暑の中、岐阜県都市建築部から提供していただいた建物において、現場経験が豊富な職員が指導者となり、実際のドアで破壊時における注意事項、破壊する要領、ポイントを説明し、経験の浅い職員への知識・技術の伝承を進めることができ、大変有意義な訓練となりました。今後も訓練を継続し、災害対応能力の充実強化を図ってまいります。



【訓練場所】



【訓練の様子】

◆ トンネル内列車脱線火災訓練を実施

南渡島消防事務組合消防本部（北海道）

南渡島消防事務組合消防本部では、令和7年8月22日（金）、JR敷地内において、JR北海道および北海道警察本部と合同で、トンネル内列車脱線火災訓練を実施しました。

この訓練は、JR、警察、消防の3機関が連携した訓練を行うことで、関係機関との連携と情報伝達の強化を図り、効率的な活動につなげることを目的として実施したものです。

当日は「トンネル内で列車が脱線し火災が発生。乗員、乗客が80人程度。負傷者数は不明。」との想定で、円滑に消火救助活動するための指揮所、エアーテントを設置し、部隊の編成、二次災害の防止、負傷者のトリアージに重点を置きながら訓練を実施しました。

実際のトンネル内での訓練を通じて、視界や足場の悪さを実体験することができ、大変貴重な経験となりました。

今後も、関係機関と連携した訓練を継続し、防災体制の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 石狩湾新港洋上風力発電所洋上風車を活用した合同訓練を実施

石狩北部地区消防事務組合消防本部（北海道）

石狩北部地区消防事務組合消防本部では、令和7年8月25日（月）、石狩湾新港洋上風力発電所において、関係機関（株式会社グリーンパワーインベストメント、小樽海上保安部、北海道防災航空室、小樽市消防本部）と洋上風車を活用した合同訓練を実施しました。

当日は、「石狩湾に設置された洋上風車において急病人が発生した。」との想定で、発災から合同指揮本部運用・情報伝達訓練、消防防災ヘリコプターと連携した要救助者のホイスト救出訓練、洋上風車から船への一箇所吊り救出訓練までを一連の流れで実施したほか、施設内の設備・構造確認を行いました。

今後も、合同訓練を継続し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体予定の建物を活用したドア開放訓練およびF F S訓練を実施

中濃消防組合消防本部（岐阜）

中濃消防組合消防本部では、令和7年8月28日（木）、29日（金）の2日間、解体予定の市立体育館を活用したドア開放訓練およびF F S訓練を実施しました。

当日は、バールやアックスなどのハンドツールとエンジンカッターを活用して扉を破壊し、閉ざされた空間への強制進入方法を再確認することができ、迅速かつ確実な救助活動技術の向上を図ることができました。

また、「建物内部で活動中に火炎にまかれた。」との想定で、実践的な環境下で訓練を行い、脱出方法、無線通信での情報発信内容、仲間との連携による安全確保の手順を確認することができ、多くの学びを得る訓練となりました。

今後も、地域の安全・安心を守るため、現場に即した訓練を積み重ねてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 熊谷警察署と合同研修会を実施

熊谷市消防本部（埼玉）

熊谷市消防本部では、令和7年9月3日（水）、埼玉県警察本部熊谷警察署と合同研修会を実施しました。

この研修会は、災害現場における警察官との連携の重要性が一層高まっている中、近年の救急需要の増加により、警察官が災害現場に最先着し、傷病者に接触する場面が増加していることから、相互の任務内容を理解するとともに、円滑な連携体制の構築を図ることを目的として実施したものです。

当日は、外傷傷病者に対する初期対応（J P T E Cファーストレスポンスコース）を実施し、重症外傷傷病者に対する共通認識を持つことができたほか、救急隊が到着するまでの一連の対応を学んでいただきました。

今後も、定期的な合同研修を行い、顔の見える関係を構築するとともに、相互理解を深めてまいります。



【研修会の様子】

その他

◆ 消防功労者に消防長から感謝状を贈呈

小松島市消防本部（徳島）

小松島市消防本部では、令和7年8月25日（月）、消防功労者の3人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同月7日（木）に管内で発生した水難事故において、消防功労者3人が要救助者を発見した後、協力して119番通報するとともに、付近にあったバックホーのバケットを要救助者につかまらせて確保し、消防隊に引き継いだものです。

贈呈式では、原田消防長が「一刻を争う状況の中、皆さまの冷静かつ的確な行動により、一つの尊い命が救われました。本当にありがとうございます。」と感謝の言葉を述べました。

市民の安全を守るために、自ら行動した高い防災意識と献身的な姿勢に、心から敬意と感謝を表します。



【贈呈の様子】



【贈呈後の記念撮影】

◆ 「はたらく消防の写生会」の表彰式と防災イベントを開催

東京消防庁（東京）

東京消防庁練馬消防署では、令和7年8月24日（日）から26日（火）までの3日間、「はたらく消防の写生会」で優秀賞受賞者を対象とした表彰式と防災イベントを開催しました。

今年から、開催を3日間とし、来場された方から順に表彰するスタイルに大きく変更しました。それにより、“マイファミリーのための表彰式”という空間となり、待ち時間なくご家族でリラックスして過ごせる雰囲気となりました。

また、記念撮影もゆったりと自然と笑顔あふれるものとなっていました。

表彰式後には、初期消火体験やはしご車の搭乗体験などの防災体験を実施し、子どもたちにとって楽しく学べる機会となり、家族で防火・防災への関心を高めるきっかけとなりました。



【表彰後の記念撮影】



【防災体験の様子】

◆ 大型プロジェクションによる予防広報を実施

藤沢市消防局（神奈川）

藤沢市消防局では、令和7年8月18日（月）、21日（木）、25日（月）、27日（水）の4日間、藤沢市防火協力会会員のビックカメラ藤沢店のほか、関係者にご協力いただき、店舗外壁を活用した大型プロジェクションによる予防広報を実施しました。

当日は、藤沢駅北口ペDESTリアンデッキから、高さ約4m、幅約6mの映像を投影し、音声とともに、リチウムイオン電池やコンセントからの出火防止、住宅用火災警報器の設置・維持、予防救急、救急車の適時・適切な利用について呼び掛けました。



【予防広報の様子】

◆ 令和7年度消防長特別研修「働きやすい職場をめざして」を実施

上尾市消防本部（埼玉）

上尾市消防本部では、令和7年8月28日（木）、令和7年度消防長特別研修「働きやすい職場をめざして」を実施しました。

この研修は、女性消防吏員のさらなる活躍推進を図ることを目的として実施したものです。

当日は、会場での対面式に50人、オンラインに81人、合計131人の職員が参加し、女性消防吏員活躍推進アドバイザーである、高崎市等広域消防局の染谷由美子氏を講師としてお招きし、「女性活躍推進の経緯」、「各種休暇の制度」、「女性が働きやすい環境とは」などについて、実体験を含めながらご講演いただき、大変有意義な研修となりました。

今後も、消防本部一丸となって、すべての職員が働き続けやすい環境を整えてまいります。



【高崎市等広域消防局 染谷由美子氏】



【記念撮影】

◆ 「消防女子×土木女子の座談会～現場女子、語る～」を開催

横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局では、令和7年8月29日（金）、「消防女子×土木女子の座談会～現場女子、語る～」を開催しました。

これは、同じ市役所の職員同士であっても、接点のなかなか少ない「消防」と「土木」の異なる“現場”で働く女性同士が、キャリア形成の悩みなどを語ることで、横のつながりを築くことを目的として企画したものです。

当日は、消防・土木の各課長による講演のほか、他都市消防本部からの長期職員研修生との交流も行いました。

今後も、すべての人にとって働きやすい職場づくりに向けて、さまざまな取り組みを進めてまいります。

なお、横浜市消防局では、令和7年11月27日（木）、女性消防吏員同士の横のつながりとキャリア形成を考える場として「キャリアアップサポートセミナー」を開催する予定です。近隣消防本部などの女性消防吏員で「横浜市消防局との横のつながりを作りたい。」「取り組み内容を伺ってみたい。」という方がいましたら、横浜市消防局人事課人事係（045-334-6404 担当：松本）までご連絡ください。



【座談会の様子】

◆ 総合防災訓練において通電火災に関する予防広報活動を実施

釧路北部消防事務組合消防本部（北海道）

釧路北部消防事務組合消防本部では、令和7年8月31日（日）、標茶町総合防災訓練において、通電火災に関する予防広報活動を実施しました。

この訓練は、災害発生時における家庭・地域・行政の役割を再確認するとともに、住民の防災意識のさらなる向上を図ることを目的として実施したものです。

当日、避難所として開設された体育館の消防ブースにおいて、職員が手作りした感震ブレーカーのデモ器を展示し、小さな子供から大人までの多くの方々に、実際に感震ブレーカーの作動を体験していただきました。

今後も、各種イベントなどにデモ器を持ち出し、感震ブレーカーの設置普及・促進に活用してまいります。



【広報の様子】



【感震ブレーカーのデモ器】

◆ 「名古屋市消防局×名古屋市交通局×名古屋グランパス 消防団員募集ラッピングバス出発式」を実施

名古屋市消防局（愛知）

名古屋市消防局では、令和7年9月1日（月）、「名古屋市消防局×名古屋市交通局×名古屋グランパス 消防団員募集ラッピングバス出発式」を実施しました。

このラッピングバスは、総務省消防庁が実施する「消防団の力向上モデル事業」において、「効果的かつ多面的な広報」として名古屋市が採択されたことから、その第一弾として消防団員募集のデザインを名古屋市営バスに全面ラッピングしたものです。

当日は、注目度を向上させるため、テレビ局や新聞社に取材していただき、テレビや新聞記事に加え、SNSなども活用し、効果的な広報を実施することができました。

なお、テレビ局においては出発式だけでなく、消防団の現状なども含めた内容で特集を組んでいただき、想定以上の広報効果をあげることができました。



【出発式テープカットの様子】



【ラッピングバスデザイン】

◆ 「鼓笛隊セット寄贈式」を実施

みやま市消防本部（福岡）

みやま市消防本部では、令和7年9月1日（月）、一般財団法人自治総合センターからひばり保育園幼年消防クラブに対して、鼓笛隊セットが寄贈されたことに伴い、「鼓笛隊セット寄贈式」を実施しました。

これは、同センターが幼年消防クラブの育成や防火思想の普及啓発を図ることを目的として、宝くじの社会貢献広報事業の一環として行っているコミュニティ助成事業を活用し、寄贈されたものです。

今後もますます住民の皆さまとの融和と協調性が生まれ、地域防災力の向上につながることを期待しています。



【寄贈後の記念撮影】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 令和7年秋季全国火災予防運動の実施について

(消防予第367号、令和7年9月5日)

消防庁長官から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

本年の秋季全国火災予防運動については、令和7年11月9日から15日までの7日間にわたり、別添「令和7年秋季全国火災予防運動実施要綱」に基づき、実施することといたします。

貴職におかれましては、本運動及び関連行事への住民の積極的な参加を促し、火災及び災害に強いまちづくりの継続的な推進をお願いいたします。

なお、各都道府県知事におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても周知していただきますようお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/tyoukanntuuti.pdf>) に掲載されています。

◆ 令和7年秋季全国火災予防運動の実施について

(消防予第368号、令和7年9月5日)

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和7年秋季全国火災予防運動については、令和7年9月5日付け消防予第367号により実施要綱を定め、各都道府県知事等あてに消防庁長官から通知したところですが、当該実施要綱に掲げる重点項目等の実施にあたり参考になると考えられる事項を、別添のとおりとりまとめましたので送付します。(別添省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/katyotuuti.pdf>) に掲載されています。

報道発表

◆ 令和7年度「救急の日」及び「救急医療週間」

(令和7年9月5日、消防庁)

「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に、昭和57年に定められ、以来、9月9日を「救急の日」、この日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としてしています。

消防庁では、期間中、関係機関の協力を得て、以下の行事・取組を開催・実施します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/e9d590f8a73fe8ef8396c283c7f2de9d3a9e6624.pdf>) に掲載されています。

【連絡先】 消防庁救急企画室救急連携係

担当：竹田、松田、岡村、三宅

TEL：03-5253-7529（直通）

E-mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622 「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。